

## 環境の保全及び創造

### ○環境保全対策事務費

担当：市民部環境生活課環境係 ☎39-2308

市民の皆さんが、健康で文化的な生活を営む上で必要とする良好な環境を守るため、川や空気の汚れ具合の測定を行ったり、事業所や団体、市民の皆さんが環境について話し合う機会づくり、地域での環境美化活動などの支援を行っていきます。

《主な取り組み》

- ・ ふらの市民環境会議
- ・ 環境美化運動

この事業には

**133万円**

の予算を計上しています。



環境パネル展

## ごみの減量と資源リサイクル

### ○ごみ収集経費

担当：市民部環境生活課環境係 ☎39-2308

富良野市内のごみ収集は、清掃事業者に委託して行っています。  
ごみステーションから収集されたごみは、種類別に各施設に搬入されます。  
分別の良くないごみが出されていた場合は、再度分別していただくために、注意を促すステッカーを貼り付け、正しい分別をお願いしています。  
平成19年度も、ごみ分別ルールを守り、排出をお願いいたします。

この事業には

**9,046万円**

の予算を計上しています。



## ごみの減量と資源リサイクル

### ○ごみ減量と資源リサイクル推進事業

担当：市民部環境生活課環境係 ☎39-2308

この事業には  
**421万円**  
の予算を計上しています。

平成 18 年度中に富良野市内で出されたごみのうち、92%以上がリサイクルされました。平成 15 年度末の全国平均（環境省調査）が 18.3%ですから、富良野市のリサイクル率は驚異的な数値と言えます。

市民のみなさまの適切な分別がごみの減量にもつながり、また、様々な資源の保護や再利用に大きく貢献していると考えます。

今後も、市民の皆様と共に着実に前進していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。



#### 主な取り組み

- ・ごみ分別の手引き、ごみ収集カレンダーなどの作成・配布
- ・ごみステーションの設置費補助
- ・ごみ分別指導

市民配布用の各種パンフレット



## ○ごみ処理の広域分担処理

担当：市民部環境生活課環境係 ☎39-2308

この事業には  
**2億5,192万円**  
の予算を計上しています。

市内で収集されたごみが、効率よく処理が行えるように下記の町村と協議し、それぞれが担当する処理品目を決め、分担してごみ処理を行っています。

処理を担当する市町村には、処理を依頼する側の市町村から、その処理量に見合った負担金を支払っています。

この方法により、各市町村は処理を担当する品目の設備だけを持てばよいこととなりますので、経費を少なく抑えることができるようになりました。



資源回収センター（中富良野町）

### 資源回収センター運営事業（負担金） 1,870万円（継続事業）

施設所在地：中富良野町

処理品目：プラスチック類、ペットボトル、空きびん

### 動物の死体処理施設維持事業（負担金） 92万円（継続事業）

施設所在地：南富良野町

処理品目：小動物の死体処理

### 衛生用品処理委託事業（負担金） 1,489万円（継続事業）

施設所在地：上富良野町

処理品目：衛生用品

### 富良野地区環境衛生組合負担金 2億1,741万円（継続事業）

施設所在地：富良野市

処理品目：生ごみ（し尿や浄化槽汚泥をあわせて処理）

富良野地区環境衛生組合



# し尿処理

## ○合併処理浄化槽設置整備事業

担当：市民部環境生活課交通生活係 ☎39-2308

この事業には  
**1,555万円**  
の予算を計上しています。

下水道整備区域外の地域の居住用住宅を対象に、炊事、洗濯、お風呂などで使われた生活雑排水とし尿を合わせて処理する合併処理浄化槽を設置する事業です。

この設置により、水洗トイレの設置が可能となりますので、家庭生活の快適性が大きく向上します。

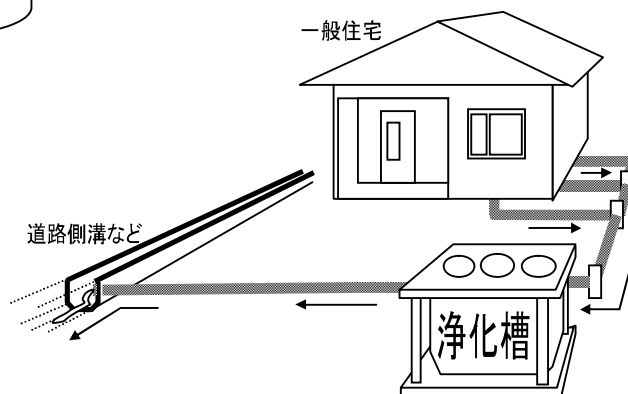
設置後は、メンテナンスを適正に行うことにより小型ながら大規模な下水道処理場と同じ浄化性能を発揮しますので、河川の環境保護に大きく役立ちます。

設置する浄化槽工事費について、その一部を補助しています。設置する浄化槽の規模により下記の表に定める額を限度として補助します。

浄化槽規模	補助限度額	人槽算定（参考）
5人槽	375,000円	延床面積130㎡以下
6～7人槽	438,000円	〃 130㎡超
8～10人槽	555,000円	2世帯住宅

国の負担	518万円
道の負担	220万円
市の負担	817万円

平成19年度整備予定基数 35基  
(実施期間：平成19年度まで)



## 総合防災

### ○地域防災事業

この事業には

**112万円**

の予算を計上しています。

担当：総務部総務課総務法制係（防災担当） ☎39-2300

住民の生命、身体及び財産を災害から保護するために、防災に関する計画を作成してこれを実施します。

また、災害の発生を予防し、又は災害の拡大を防止するため必要な施策の実施に努めていきます。

具体的には、①地域防災計画の見直し、②関係機関担当者会議・連絡協議会・研修会への出席、③防災行政無線の保守・点検・整備、④北海道総合行政ネットワークの活用、⑤国民保護法に基づく国民保護計画の作成及び公表、⑥平成19年度石狩川中流空知川危機管理演習への参加、⑦市防災訓練（避難訓練）の実施とします。

#### 【平成19年度の主な予定】

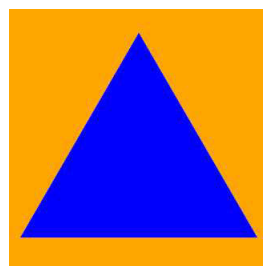
山岳遭難防止・防災会議・水防会議等の出席旅費	12万円
防災行政無線の保守・点検・整備	84万円
避難所施設標識製作（生涯学習センター2箇所）	16万円

#### 〔国民保護とは？〕

平成16年9月に国民保護法が施行されました。国民保護とは、この法律に基づき、外国からの武力攻撃や大規模テロ等から、国民の生命、身体及び財産を保護することをいいます。万が一、こうした事態が発生した場合、政府が策定する基本的な方針に基づき国や都道府県、市町村などが連携協力して、住民の避難や救援、武力攻撃災害への対処などの国民保護措置を実施します。

国民保護のポイントは大きく3つ。

「避難」、「救援」、「武力攻撃災害への対処」です。



国民保護に携わる者を識別するため、ジュネーブ諸条約等で定められている標章（オレンジ色地 青の正三角形）

# 交通安全

## ○交通安全啓発事業

この事業には  
**748万円**  
の予算を計上しています。

担当：市民部環境生活課交通生活係 ☎39-2308

安全で快適な交通社会を築くために、交通社会の一員である市民一人一人が交通ルールを守り、交通安全に心がけてもらえるように効果的な交通安全運動を組織的・継続的に展開していきます。

### 主な取り組み

- ・ 交通指導員51名による交通安全活動
- ・ 4期40日の全国・全道交通安全運動の実施
- ・ 地域交通安全運動の実施
- ・ 交通安全教室の開催
- ・ 音楽行進などのイベント交通指導

富良野市交通事故推移（10年間）

年	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
発生	78	94	66	93	104	74	77	100	80	73
死者	4	3	3	3	7	3	2	2	1	0
傷者	109	133	98	122	138	99	103	136	125	93
物損	1,083	1,090	1,105	1,157	1,035	951	957	926	875	811



## 消費生活

### ○消費生活センター・女性センター運営事業

担当：市民部環境生活課交通生活係 ☎39-2308

この事業には  
**490万円**  
の予算を計上しています。

消費生活センターは、消費生活の多様化・高度化・複雑化に対応して市民の消費生活の安定と向上のため、情報の提供や苦情等に対する相談を行っています。

女性センターは、女性の生活文化の向上と社会参加を応援するため、女性団体の活動の場として会議室の貸し出しを行っています。

(男性の団体も利用できます。)



#### 主な取り組み

- ・ 消費者モニターによる価格調査
- ・ 契約の解約、苦情など消費生活相談
- ・ 悪質な販売など不当な販売活動に関する啓発、情報提供
- ・ 女性センター会議室の貸し出し

○ 消費生活相談件数 345件（平成18年度）

○ 女性センター会議室利用状況 述べ378団体 4,410人利用（平成18年度）  
大会議室（103㎡）・中会議室（52㎡）・第1会議室（30㎡）・第2会議室（18㎡）